

平成25年度事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

財団法人 能村膜構造技術振興財団

1. 概況

平成25年度の事業として、研究助成金を10名、総額900万円を交付した。

なお、平成26年2月17日～2月21日に助成交付対象者に、助成金交付書の授与を行い、事業年度内にすべての助成金支給を完了した。

2. 運営について

(1) 第32回定時理事会 平成25年5月21日開催

第一号議案：平成24年度事業報告

第二号議案：平成24年度決算報告

第三号議案：定時評議員会開催の件

報告事項：職務の執行の状況

(2) 第31回定時評議員会 平成25年6月10日開催

第一号議案：議長互選の件

第二号議案：平成24年度決算報告

第三号議案：役員及び評議員の報酬の額の件

報告事項：事業報告及び付属明細の件

(2) 臨時理事会 平成25年7月30日開催

議案：平成25年度収支予算書の変更について

(4) 選考委員会 平成25年11月28日開催

第一号議案：平成25年度研究助成金交付対象の選出について

第二号議案：議事録署名人の選任について

(5) 第32回定時理事会 平成22年3月14日開催

第一号議案：平成26年度事業計画

第二号議案：平成26年度収支予算

報告事項：職務の執行の状況

3. 事業について

(1) 助成事業

平成 25 年度は、募集要項をホームページにて掲載し、広く助成金の応募を募りました。その結果、15 件の応募があり、平成 25 年 11 月 28 日に定款及び選考委員会規程に則り、選考委員会が開催され、慎重且つ、十分な議論の上、10 件 900 万円が助成対象として選考されました。

記

- ① TiO₂ ナノチューブアレイ及び量子ドットを用いた高効率なクリーニング効果を持つコーティング技術の開発
山形大学大学院理工学研究科電気電子工学科 助教
有馬ボシールアマハンド 100 万円
- ② 複雑な形状を有する膜構造物の裁断図形状最適化と詳細有限要素解析
広島大学大学院工学研究科建築学専攻 教授
大崎 純 100 万円
- ③ 粘土鉱物を用いた難燃性透明複合膜の開発研究
独立行政法人産業技術総合研究所コンパクト科学システム研究センター
主任研究員
石井 亮 100 万円
- ④ 水熱合成反応を利用した新規機能性無機薄膜創生技術の開発
東京工業大学大学院理工学研究科材料工学専攻 助教
新 大軌 50 万円
- ⑤ コンテナ船風防ドーム用膜構造の動的強度の評価
東京大学人工物工学研究センター 教授
鈴木 克幸 100 万円
- ⑥ 太陽熱で発電するシート状構造体の研究開発
長岡技術科学大学工学部機械系 准教授
武田 雅敏 100 万円

- ⑦ 豪雨・洪水時の間隙空気に着目した透気遮水シートによる河川堤防を
ねばり強くする方法の開発
名古屋工業大学工学部都市社会工学科 教授
前田 健一 100万円
- ⑧ 柔骨組構造の形態解析および接触問題を含む変形挙動解析のための
アルゴリズム開発
佐賀大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授
帯屋 洋之 50万円
- ⑨ Guide Buckling Load Evaluation of Metal Reticulated Roof Structures の作成の
ための調査研究
豊橋科学技術大学 名誉教授
加藤 史郎 100万円
- ⑩ Membrane Structure's Technology and its potential for disaster remediation and
cultural programming
Harvard University Graduate School of Design Professor
Toshiko Mori 100万円

(2) その他、前条の目的を達成するために必要な事業は特にありません。

平成25年度事業報告の内容を正しく示しているものと認めます。

平成 26年 5 月 7 日

監 事 鷺 尾 久 太 加

